

サポート体制が  
充実しています。

女性だからこそ  
できることがある。

女性の視点で  
意見を伝えられる。



# 女性消防職員活躍中!

金沢市では3人の女性が各分野で消防職員として活躍しています。



お問い合わせ

**金沢市消防局消防総務課**

TEL.076-280-1029 FAX.076-280-0020

女性活躍推進専用ホームページ

金沢市消防局 女性活躍

検索

<http://fire.city.kanazawa.ishikawa.jp/recruit/josei.html>



## 先輩女性職員からのメッセージ



中央消防署 救急隊

消防士長 石田 麻美



私は父親が救急車で運ばれたことがきっかけで消防士を目指しました。金沢市消防局初の女性消防士ということで、職員全員が手探り状態。体力では男性に敵わないため、ロープワークなど技術と知識が必要となる作業を重点的にたたき込んでもらい、局内の消火技術を競う大会では優勝することが出来ました。救急現場では女性であることを活かして女性患者の観察や事情聴取を率先して行っています。

結婚した際には、上司から「出産・子育てを全面的にサポートするよ」と声を掛けて頂き、今は3人の子育てをしながら職務にあたっています。妊婦や子育ての救急現場では実体験を活かし、子育てで培った忍耐力や応用力は様々な場面に役立っています。



駅西消防署 救急隊

消防士長 松田 ともみ



「人の為になる仕事がしたい」と考えていたとき、女性の消防士が活躍しているという新聞記事を見つけ、「女性でも消防士になれるのか!」と興味を持ったことが私が消防士を目指したきっかけでした。

消防=男性の職場、体力勝負、筋トレ等のイメージが強いと思いますが、そんな中でも女性が活躍できる場面は多くあります。女性の関係者や傷病者に接したときに安心してもらえたり、市民のニーズに応えるために、女性の視点や意見を伝えられることも強みだと思います。

現在は救急隊員として活動していますが、今後も様々なことに興味を持ち、女性として活躍できる場面を見つけ、増やしていきたいと思っています。



中央消防署 消防隊

消防士 竹内 絢美



救急隊員に憧れて消防士を目指しました。医師や看護師と違い、現場で1番に患者に手を差し伸べることが出来るというところに魅力を感じました。

消防は男性社会で毎日訓練ばかりというイメージでしたが、実際は消防署を出て消火栓点検や立入検査、市民の方への訓練指導を行うなど、幅広い業務を行っていました。

男性が多い職場ということで、消防で働くことに不安を持つ人もいるかもしれませんが、先輩方はみんな働きやすいように環境を整えてくれたり、どうしたらよりよい活動が出来るか一緒に考え、サポートしてくれる素晴らしい職場です。

皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

## 休暇・休業制度等の一例

### (1) 産前・産後休暇

出産予定日以前8週間目にあたる日から、出産の日後8週間目にあたる日までの期間で取得できます。

### (2) 育児休業

3歳未満の子どもを育てるために、子どもが3歳になるまで休業できます。

### (3) 育児時間のための休暇

生後1年9ヶ月に達しない子どもを育てるために、1日午前午後各45分(1日1回90分でも可)取得できます。

### (4) 子の看護のための休暇

中学校就学前の子どもを育てる職員が、子どもの怪我や病気の看護のために、1年度に5日(対象となる子どもが2人以上の場合は10日)取得できます。

## 女性専用施設等の一例

女性職員が働きやすいように、女性専用仮眠室に風呂やトイレ、洗面台等の設備を設置しています。



ベッド



洗面台



風呂



トイレ



洗濯機

